

地域医療介護総合確保基金の概要

趣旨

国では、団塊の世代が後期高齢者となる2025年に向けて、「効率的かつ質の高い医療提供体制の構築」と「地域包括ケアシステムの構築」が急務の課題であることから、消費税増収分を財源として、新たな財政支援制度を平成26年度に創設した。

各都道府県は、この制度を活用するため基金を造成し、毎年度策定する計画に基づき地域における医療及び介護の確保のために必要な事業を実施する。

基金の根拠法：地域における医療及び介護の総合的な確保の促進に関する法律

基金規模(平成29年度)

- ◆全国で1,628億円（医療分野904億円、介護分野724億円）※両分野とも28年度と同額
- ◆負担割合：国が3分の2 都道府県が3分の1
- ◆配分方法：各都道府県から提出される計画案を踏まえ、都道府県人口等の基礎的要因や、都道府県計画の評価等の政策的要因を勘案して、予算の範囲内で行う。

計画案の概要(平成29年度)

1 計画の期間

平成29年度から31年度まで ※毎年度3か年で計画を策定

2 計画の目標等

高齢者をはじめすべての県民が、地域において「安いで質の高い医療・介護サービスが受けられ、最期まで自分らしく生きられる千葉県を目指して」施策を推進する。

(医療分野の施策の柱)

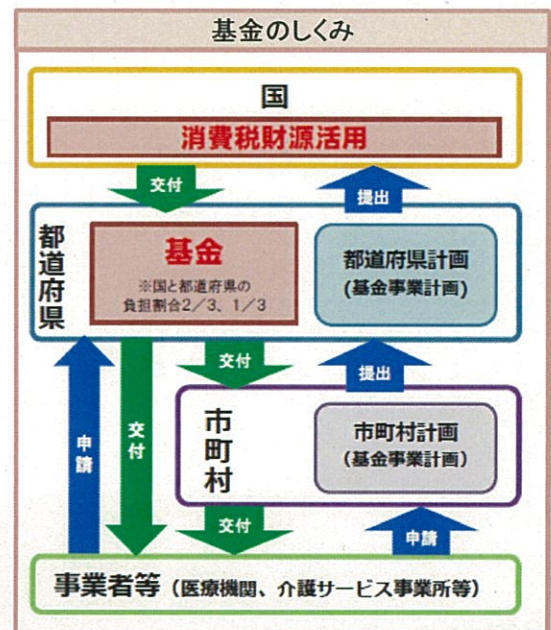
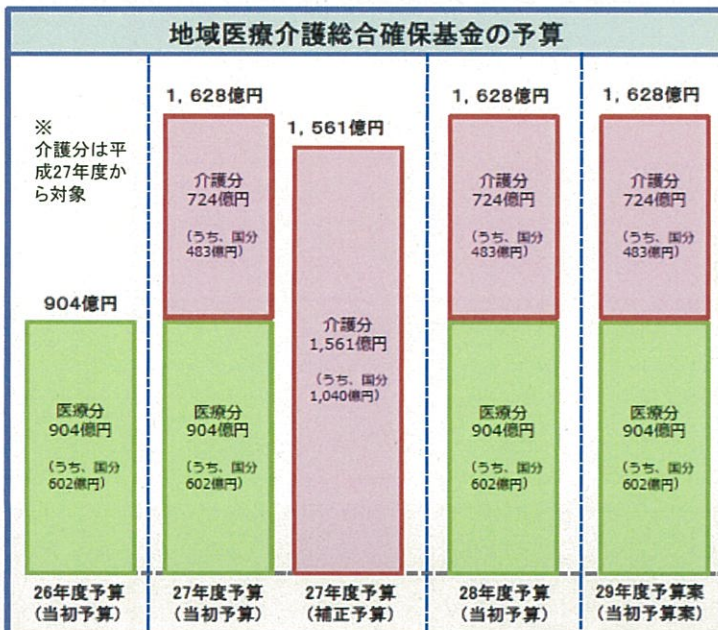
- ①地域包括ケアの推進
- ②医療機関の役割分担の促進
- ③医療従事者の確保・定着
- ④地域医療の格差解消

(介護分野の施策の柱)

- ①介護施設等の整備促進
- ②介護従事者の確保・定着

3 基金の規模

- ◆総額 62.9億円を国に要望 *医療分：44.0億円
- *介護分：18.9億円



平成29年度 国における基金の配分方針等

平成29年度基金の配分方針は、平成29年1月に医療分について示された。

医療分

- 地域医療構想の策定作業の進捗を踏まえて事業区分Ⅰの事業に重点的に配分を行う。また、地域医療構想調整会議における調整状況等を踏まえて、具体的な整備計画が定まっている事業を優先して配分額を調整する。
- 区分Ⅱ、Ⅲの事業のうち、従来国庫補助金で実施してきたソフト事業相当額(千葉県は約11.4億円)を基本として、配分額を調整する。
- 標準事業例及び標準単価を定め、原則としてそれらに基づき事業を計上すること。
- 内示後における事業区分間の変更は認めない。

(参考)国の事業区分と県計画の施策との関係

国の事業区分	配分額	配分割合	県計画の施策
Ⅰ 地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設又は設備の整備に関する事業	500億	55%	施策2 医療機関の役割分担の促進
Ⅱ 居宅等における医療の提供に関する事業	404億	45%	施策1 地域包括ケアの推進
Ⅲ 医療従事者の確保に関する事業			施策3 医療従事者の確保・定着 施策4 地域医療の格差解消

介護分

- 施設整備と人材確保について、それぞれ予算額の範囲で配分する。

平成29年度 国への基金要望について

本県の対応

- 国への要望は、平成28年3月に策定した地域医療構想との整合を図りつつ、29年度計画期間における将来の事業費を見込んだ積立額を要望する。(62.9億円)
- 平成29年度当初予算では、そのうち、国の配分方針が示される前の段階で、必要と見込まれる事業費を積立額として予算化。(47.4億円)
- 国への要望に当たっては、国の配分方針や6月補正要求予定事業を踏まえ、追加要望を行う。(15.5億円の追加)
- 平成29年度当初予算における基金を活用した事業費(執行予算)は、27、28年度に積み立てた基金及び29年度当初予算で措置した額を活用している。(79.1億円)

(参考)国への要望と当初予算の関係

(単位:億円)

	基金積立額			事業費			
	H29要望額	うち追加要望分	うちH29当初予算	H30以降分	H29当初予算(執行予算)		
	①+②	①	積立額計② ③+④	H29基金 積立額③	H29基金 積立額④	H27・28基金 対応分⑤	H29事業費 計④+⑤
総額	62.9	15.5	47.4	2.2	45.2	34.0	79.1
医療分	44.0	14.5	29.5	2.2	27.3	9.8	37.1
介護分	18.9	1.0	17.9	—	17.9	24.1	42.0

平成29年度 医療分の要望

医療分の規模

要望額は、44.0億円 [28年度要望額(48.4億円) △4.4億円] ※一部事業の一般財源対応による減。

要望の特徴

※6月補正要求予定事業含む。

- 在宅医療関係事業の強化による地域包括ケアの更なる推進
- 医師確保、看護師確保・養成の着実な促進
- 救急医療対策、産科医確保対策、小児救急対策の実施
- 地域医療構想の達成に向けた病床機能の転換を着実に促進

当初予算との関係

- 29年度当初予算(知事選に伴う骨格予算)積立額は、過年度計画で積立てた基金を活用しつつ、29年度分として基金事業費を計上した(29.5億円)。
- 国への要望に当たっては当初予算措置事業に、6月補正要求予定事業(0.6億円)及び地域医療構想達成に向けた病床機能の転換のための事業等(13.9億円)の合計14.5億円を加えて要望する。
- 結果、28年度交付額(33.1億円)を上回る規模(+10.9億円)で国へ要望を行う。

	29要望①	うち29当初	うち追加	要望内容	28交付額②	増減(①-②)
総額	44.0	29.5	14.5		33.1	10.9
地域包括	1.1	0.8	0.3	在宅医療・地域包括ケアの推進	0.6	0.5
役割分担	17.5	3.6	13.9	病床機能の転換等	15.1	2.4
人材確保	21.0	21.0	—	医師確保・看護師確保・養成重点化	13.9	7.1
格差解消	4.4	4.1	0.3	産科医確保対策、小児救急対策の拡充	3.5	0.9

注)総額は、端数計算の関係で合わないことがある。

平成29年度 介護分の要望

介護分の規模

要望額は、18.9億円 [28年度要望額(46.5億円)。△27.6億円] ※過年度基金活用による減。

要望の特徴

※6月補正要求予定分含む。

- 市町村における小規模特養等施設整備を着実に実施
- 広域型施設等及び地域密着型施設等の開設準備支援を着実に実施

当初予算との関係

- 29年度当初予算(知事選に伴う骨格予算)では、国の27年度補正予算(※)に伴い、27年度2月補正で積み立てた基金の一部(14.5億円)や28年度計画積立の一部(9.7億円)の合計24.2億円を優先的に活用しつつ、29年度分として基金事業費を計上した。(17.9億円)
- 国への要望額は、6月補正予算要求予定事業(1.0億円)も加え、18.9億円の要望を行う。

	29要望①	うち29当初	うち追加	要望内容	28交付額②	増減(①-②)
総額	18.9	17.9	1.0		38.2	△19.3
施設整備	18.6	17.9	0.7	小規模特養等の介護施設の整備	35.5	△16.9
人材確保	0.3	0	0.3	【検討中】喀痰吸引に関する取組	2.7	△2.4

※一億総活躍社会の実現に向けて緊急に実施すべき対策 : 86.8億円

平成29年度当初予算（執行予算）の状況

県の当初予算（基金による事業費）

基金による事業費は、総額79.1億円（医療分37.1億円 介護分42.0億円）

昨年度当初予算額に比べ8.1億円増（医療分3.4億円減 介護分11.5億円増）

- 医療分は、27～29年度の基金を活用して事業を行うが、看護師等学校整備事業の減により全体事業費が減となっている。

基金の区分Ⅲ（人材確保）の配分額が要望額に満たない状況であること、看護師等学校整備事業は多額の事業が必要でありかつ年度の事業費の変動が大きいことから一般財源で計上している。

- 介護分は、国の27年度補正（一億総活躍社会の実現に向けて緊急に実施すべき対策）による基金積立ての一部を活用しながら、昨年度当初予算を大幅に上回る事業費を計上。

（増となった主な事業）

- ・広域型施設等の開設準備支援等事業補助
- ・地域密着型施設等の開設準備支援等事業補助

※更に、知事選後の6月補正予算（肉付け）により約13.8億円程度を要求予定（医療分0.6億円、介護分13.2億円）

（参考）基金の活用状況（29年度予算事業費）（単位：億円）

（参考）28年度予算事業（単位：億円）

	29当初① （事業費）	事業費の財源内訳			28当初② （事業費）	事業費の財源内訳			増減 （①－②）
		29基金	28基金	27基金		28基金	27基金	26基金	
総額	79.1	45.2	11.7	22.3	71.0	54.0	2.8	14.2	8.1
医療分	37.1	27.3	2.0	7.8	40.5	23.5	2.8	14.2	△3.4
介護分	42.0	17.9	9.7	14.4	30.5	30.5	—	—	11.5

平成29年度計画における積立額と29年度執行予算の関係について

26、27は決算額、28年度は最終予算、29年度は当初予算

（単位：億円）

	年度別 執行予算額		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
	26	27	14.1	18.9	34.5	37.1		
医療分	各年度積立額	26	34.6	14.1	4.3	14.1		
		27	32.5		14.6	1.9	7.8	
		28	33.1			18.5	2.0	
		29	29.5※				27.3	2.2

※29計画の国への要望額
当初予算措置：29.5億
追加：14.5億
最終要望総額：44.0億

	年度別 執行予算額		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	27	28	14.0	23.0	42.0			
介護分	各年度積立額	27	22.3	14.0	7.3			
		27補正	86.8		—	14.4		
		28	38.1		15.7	9.7		
		29	17.9※			17.9		

※29計画の国への要望額
当初予算措置：17.9億
追加：1.0億
最終要望総額：18.9億